



こしみず町  
議会だより

News from koshimizu town assembly

条例  
可決

町営牧場管理条例

町営牧場の運営管理について、平成23年度より委託制度から指定管理者制度へ移行することに伴い必要となる規定などを整備するものです。

町立学校設置条例

平成24年4月の小学校再編に伴い条例の一部を改正するものです。

町自然体験留学者住宅設置条例の廃止

なお、自然体験留学者住宅設置条例の廃止は、これによる中斗美地区の自然体験留学事業の終了によるものです。

補正予算  
可決

▼一般会計

歳入歳出それぞれ3千891万1千円を追加補正。  
主な補正内訳は次のとおりです。

▼国民健康保険特別会計

療養給付費及び高額療養費等において不足が見込まれることから590万4千円の追加補正。

▼老人保健特別会計

医療費の確定に伴い診療報酬支払金として28万円の追加補正。

▼介護保険特別会計

【保険事業勘定】  
福祉用具の購入等において不足が見込まれることから、113万1千円の追加補正。

【サービス事業勘定】

介護士臨時職員賃金等において不足が見込まれることから、24万7千円の追加補正。

前回の継続審査  
決算  
認定

9月14日開会の第5回定例会において、決算審査特別委員会にて審査することとしていた平成21年度小清水町各会計における決算について、同委員会の審査結果の報告があった後、次のとおり認定されました。

▼一般会計  
認定(起立採決)

▼国民健康保険特別会計  
認定(起立採決)

▼後期高齢者医療特別会計  
委員長の報告のとおりに認定

▼老人保健特別会計  
委員長の報告のとおりに認定

▼介護保険特別会計  
委員長の報告のとおりに認定

▼簡易水道特別会計  
委員長の報告のとおりに認定

▼農業集落排水事業特別会計  
委員長の報告のとおりに認定

平成21年度 各会計歳入歳出決算状況

会計名	収入済額	支出済額	翌年度繰越額
一般会計	4,733,614千円	4,581,097千円	152,517千円
国民健康保険特別会計	873,860千円	860,420千円	13,440千円
後期高齢者医療特別会計	60,283千円	59,846千円	437千円
老人保健特別会計	9,154千円	6,599千円	2,555千円
介護保険特別会計(保険事業)	374,615千円	371,009千円	3,606千円
介護保険特別会計(サービス事業)	270,524千円	270,524千円	0千円
簡易水道特別会計	237,297千円	213,038千円	24,259千円
農業集落排水事業特別会計	199,525千円	194,380千円	5,145千円

第7回町議会定例会は12月16日に開会し、議員からの一般質問、各会計補正予算等を審議・可決し閉会しました。  
今月号では、第7回定例会における審議内容などについてお知らせいたします。



意見書  
可決

議員から提出された6件の意見書案について審議の結果、原案のとおり可決し、関係大臣等に提出することとなりました。

件名	要旨	提出先
国土交通省「北海道局」の存続要望に関する意見書	国土交通省北海道局の廃止については、依前として低迷している北海道経済、遅れている社会基盤整備面等からも与える影響は極めて大きい。北海道局は、安心・安全な食料の提供や自給率の向上など国家的な課題解決に貢献していく役割を担っており、これを推進する組織としての機能が益々重要となっている。今後においても、北海道開発の枠組みを堅持し、組織として存続していくことを強く要望する。	・内閣総理大臣 ・国土交通大臣 ・衆議院議長 ・参議院議長
大幅増員と夜勤改善で安全安心の医療・介護を求める意見書	医療現場は、長時間・過密労働に加え、医療安全への期待の高まりなどで、看護職員などの労働環境は厳しさを増し、離職者も多く深刻な人手不足となっている。医療・社会保障予算を先進国並に増やし、国民が安心して暮らしていける制度設計、看護師等の大幅増員を実現し、医療・看護・介護の拡充を講じられるよう要望する。	・内閣総理大臣 ・財務大臣 ・厚生労働大臣 ・衆議院議長 ・参議院議長
地域医療と国立病院の充実を求める意見書	公的病院の縮小・閉鎖によって、救急患者の受け入れ先がない等、地域医療が崩壊しかねない事態が全国で生じている。公務員人件費削減や効率化の名の下に、いのちや暮らしにかかわる公共部門を切り捨てることは許せません。いつでも・どこでも・だれでも、安心して医療を受けることができるよう、地域医療と国立病院の充実を図るよう要望する。	・内閣総理大臣 ・財務大臣 ・厚生労働大臣 ・衆議院議長 ・参議院議長